

第35回 日本看護教育学会 学術集会 未来の看護を創る次世代教育チーム主催 理事会企画1

「未来の看護を創る次世代教育について語ろう」アンケート結果 一部速報

日時：2025年8月29日(金)13:00-14:00

参加者：対面20名、オンライン30名前後 合計50名

アンケート回答者：20名

1. 対象者属性

① 年代

20代	1名
30代	2名
40代	5名
50代	5名
60代	7名

② 本学会会員歴

非会員	8名
3年未満	3名
6-9年	2名
10年以上	7名

③ 所属機関・職種・教育における立場についてについて

所属期間	職種	教育の立場
大学	13名 教員12名、URA1名	教員（内2名新人教育担当、2名研修担当、2名実習指導者経験あり）
専門学校	5名 教員4名、助産師1名	教員（内4名新人教育担当、3名実習指導者、1名研修担当経験あり）
病院・施設	1名 看護師1名	研修担当, 新人教育担当, 実習指導者
訪問看護ステーション	1名 看護師1名	実習指導者

④ 臨床経験年数・教員経験年数・教育に関わっている年数

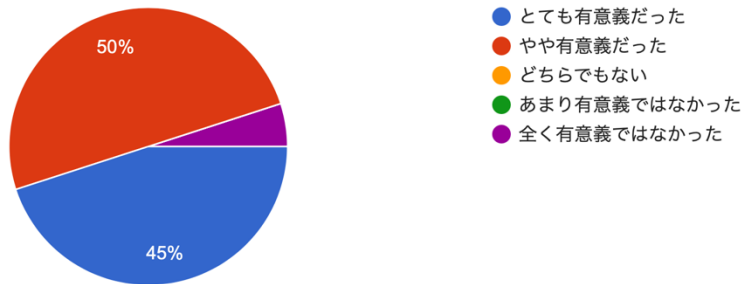
年代	臨床経験年数	教育経験年数	教育年数 (臨床と教育期間の合計)
20代 (N=1)	3-5年 1名	4-6年 1名	4-6年 1名
30代 (N=2)	6-10年 1名	1年未満 1名	1年未満 1名
	11-15年 1名	4-6年 1名	10年以上 1名
40代 (N=5)	6-10年 1名	2-3年 1名	7-9年 1名
	16-20年 1名	4-6年 1名	10年以上 4名
	21年以上 2名	7-9年 1名	
	臨床経験なし 1名	10年以上 1名	
		教員経験なし 1名	
50代 (N=5)	6-10年 2名	10年以上 4名	10年以上 5名
	11-15年 2名	教員経験なし 1名	
	21年以上 1名		
60代 (N=7)	3-5年 2名	10年以上 6名	2-3年 1名
	6-10年 2名	教員経験なし 1名	10年以上 6名
	11-15年 1名		
	16-20年 1名		
	臨床経験なし 1名		

2. 本年度の理事会企画について

① 本理事会企画に参加しようと思ったきっかけ

- 次世代教育に関する情報を得るため (N=11)
- 次世代教育に関心があったため (N=13)
- 若手会員との交流に関心があったため (N=8)
- 悩みや困りごとを相談したい (N=4)
- 知り合いが参加しているため (N=1)
- 上司や指導教員に勧められたため (N=1)
- 理事 (N=1)

② 本理事会企画は有意義であったか。



③ 上記理由

- 看護学教育の未来を考えるセッションだと思った (N=1)
- 同じような悩みを持っていることがわかり刺激になった。 (N=2)
- 悩みを共有することができた。 (N=2)
- 若手教員のリアルな悩みを知ることができた。 (N=3)
- 様々な視点での意見交換ができた。 (N=2)
- もっと時間が欲しかった。 (N=2)
- 社会の変化の中で、私の時とはまた違う環境でも悩みの根幹はあまり変わらないことの再確認が出来た。 (N=1)

3. 今後、この委員へ求めること

① 現在、看護教育に携わる上で悩んでいること

- 今後のキャリアについて
- ID を活用した授業の組み立てを行おうとするが、ニーズやレディネスの把握に苦勞する
- 様々なレディネスの学生がいるなかでの授業展開をどうしたらいいのか？焦点をどこに合わせるのか、に悩んでいます？
- 時間がありません。改善したい講義内容も少しのみしか手をつけられません。担当する業務量が多いこと。担当する学生が多すぎます。
- 教員の不足、募集しても適格者がいない
- 若手教員の成長の支援の仕方
- チームで授業を作るとか、組織で話し合っ決めていくという話が出ていましたが、職場ではそのような風土が全くないので、困っています。

② 今後、参加してみたい企画やセミナー

- 実習指導者と教員の交流会
- 男性教員の悩みを打ち明ける会
- 今回のような交流会や座談会は興味あります
- 教員の世代交流
- 他大学の先生方と授業や実習についてざっくばらんに話せる機会
- 教員としての最低限知っておく必要があるハラスメント対策や授業設計、教材開発と著作権に関する知識など、どのように学ぶと良いかを知れる機会があるとありがたいです。可能であれば単発ではなくて、複数回のセミナーで体系的に学び、かつ仲間ができると教育効果がさらに高まるのではないかと考えます。

③ 次世代教育チーム

- メンバーになりたいです!
- 頑張ってください。これからのご活躍が楽しみです。
- みなさんが取り組んでいる教育活動をアクションリサーチ研究のように継続し、その成果を情報共有して行ってほしいです。
- 頑張ってください。
- 頑張りましょう!
- いいチームだと思います。今日の意見を発展させてください。
- 先生方、どうぞお身体をご自愛ください
- とともに悩み、前に進もう
- 学会の正会員を増やす方策を一緒に考えていきたいです。
- 運営も上手でした。
- 施設をこえ、様々な意見を聞くことができ勉強になりました。ありがとうございました。
- 活動をととても楽しみにしています。
- 大変刺激をいただきました。もうちょっと頑張ってみようかと思える時間となりました。ありがとうございました。

以上